

仙台市公民館運営審議会議事録

(令和3年7月定例会)

○ 日 時

令和3年7月1日(木) 午前10時00分～11時30分

○ 会 場

仙台市生涯学習支援センター 5階 第1セミナー室

○ 出席者

〔委員〕 相澤雅子委員、大内幸子委員、幾世橋広子委員、後藤武俊委員、佐々木稔委員、
佐藤正実委員、高橋卓誠委員、福士定男委員、牧靖子委員、松田道雄委員

〔事務局〕 生涯学習支援センター：センター長 木田、センター次長 千葉、主幹兼事業係長 福本
青葉区中央市民センター：センター長 佐々木
宮城野区中央市民センター：センター長 石川
若林区中央市民センター：センター長 湯村
太白区中央市民センター：センター長 渡部
泉区中央市民センター：センター長 内海
生涯学習課長 田中
地域政策課長 市川
公益財団法人仙台ひと・まち交流財団：市民センター課長 古城

〔傍聴人〕 なし

○ 資 料

次第

資料1：仙台市市民センター事業（子ども参画型社会創造支援事業）調査研究報告書（案）

資料2：本日の協議の進め方

参考資料1：仙台市公民館運営審議会委員名簿

参考資料2：今後の進め方について（令和3年5月13日審議会資料2より）

1 開 会

（新任の福士定男委員が紹介され、同委員から挨拶があった。）

（資料の確認）

事務局：本日は、10名の委員の皆様にご出席いただいております。仙台市市民センター条例施行規則第10条第3項の規定により委員の過半数である8名以上の出席を満たしておりますので、有効な会議として成立しておりますことをご報告申し上げます。

2 挨拶

(センター長挨拶)

事務局：ここからの進行は会長にお願いいたします。

会長：この審議会は原則公開になっておりますが、傍聴の希望はございませんか。

事務局：本日はございません。

会長：次に議事録の署名委員です。名簿順で、前は佐藤委員でしたので、今回は高橋委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

3 協議

(1) 仙台市市民センター事業（子ども参画型社会創造支援事業）の調査研究について

- ・事務局から、資料1により調査研究報告書（案）の概要について説明があり、本日の協議は、グループ討議により同報告書（案）の「まとめ」部分の作成に向けて議論すること、次回審議会では本日の協議を反映させて取りまとめた最終案について審議することが提案され、承認された。
- ・上記承認を受け、資料2のとおり、これまでの議論の中から見えてきた3つの視点毎にグループ討議が行われた。討議終了後の議事については以下のとおり。

会長：ここまでのところで、皆さんで情報共有したいと思います。この時間内で完璧に仕上げるというのは無理がありますので、現段階での確認ということでお願いします。

まず、「子どもの主体性を育てる視点から」の第1グループからお願いします。

委員（第1グループ）：「学校教育とは異なる場としての各市民センターで創意工夫した子ども参画型事業が行われている。その現場を視察して、生き生きと活動している子ども達の姿を見ることができた。それは、事業プログラムの中で、のびのびと自由に意見を言い合えること、子ども達が年齢や学年を越えて協力できていること、地域の特色を生かして活動していること、様々な多くの大人達が支援していることなどにより実現できていると考えられる。」

その後、「子ども達が地域づくりに参画し役立っているという自己肯定感を育むことにつながっている。」とまとめようと思っているのですが、間に一つ二つ事例を入れたいと考えていたところです。

会長：ありがとうございます。第2グループ「市民センターの役割の視点から」お願いします。

委員（第2グループ）：「市民センターには、地域の中で子どもと地域をつないだり、学校や学年を越えた交流をしたり、さらには異なる地域の活動をつなげるなどのコーディネートの役割がある。

学校、家庭、地域だけではできない活動を提供していくため、職員が子ども達と共に歩む気持ちを持って、子ども達の豊かな発想やおもてなしの心を育むことを心掛ける。

これらの活動を通じて、多様な人々や団体とのつながりを作っていくことが求められている。」というところまで、検討しました。

会長：ありがとうございます。では、第3グループ「地域づくりへの広がり」の視点からお願いします。

委員（第3グループ）：「子ども達の視点による活動は、地域の魅力の新発見とまちを元気にする力があり、周りを巻き込む力がある。

『子ども事業』に注力することで、子どもから大人までの市民活動を支えるネットワークの拠点として、地域づくりやまちの活性化に貢献できる。

周りを巻き込む子どもの可能性や誰でも学べる場づくり、地域の新たな魅力の発見など『子ども事業』で得た成果を他の地域や事業にも広げ生かしていくことで、持続可能な取り組みになる。」

課題の方につなげていきたかったので、このような表現にしました。

会長：どうもありがとうございました。各グループ、短い時間でここまで文章を作成できたのはすばらしいと思います。本日の討議はひとまずここまでとして、次回の最終回では、最初から同じメンバーでグループに分かれて、本日作成した「まとめ」に足りない部分を補足する等した上で、最後に全員で全体について議論して仕上げるか、あるいは、もう一度グループ討議を挟んでから最終確認をした方が良いか。いずれにしても、次回も全ての討議を全体で行うのではなく、本日のグループのメンバーで、担当した部分の「まとめ」を作り上げていくというのはいかがでしょうか。

とは言え、自分達が担当した視点についてしか意見が言えなかったということではいけないので、他の「視点」からの報告を聞いて、とても工夫しているが、このようにしたらより良くなるのではなど、ご意見等あればお願いします。

委員：3つの視点でということで、自分はどの立場でどのような意見が出せるかと考えていたのですが、短い時間内で皆さん良くここまでできたと思いました。それぞれの視点で、2年間の活動を見つめ直し掘り下げていくことができ良かったと思います。

委員：視点ごとに3グループに分かれて「まとめ」を作成した訳ですが、それぞれに共通しているのは、市民センターが「子ども事業」を通して、どのように子どもや地域を育てていくかという一点に尽きると思っていますので、同じ目的・目標に向かって進めていることを今日は非常に実感できました。

委員：グループで一つの文章を作っていくというのは難しいだろうと思いつつも取り組みましたが、案外スムーズに進みました。また、他のグループと重複する箇所が出てくるのではないかと、その際はどのように調整するのかと思っていたのですが、それほど重複することなくできあがりそうで、次回も期待しています。

委員：私はグループ討議をととても楽しみにしているのですが、昨年まではこのような形はあまりなかったとのことで、タイミングが良かったと思っています。皆さんのグループ発表を聞いていますと、共感できることが多くあります。

今日の文章作りで感じたのが、専門家など様々な立場の方の集まりで、それぞれ言葉の使い方が違う。だからこそ、誰にも共通して分かる言葉にしようとなつて、色々な立場の人達の集まりの良さということです。

委員：「市民センターの役割の視点から」のグループで話し合いました。グループ討議は、フリートークのような形で忌憚なく話すことができ、他の人の話から、自分の考えが明らかになったり触発されたり、新たな考えが出てくるのが非常に良いと思います。

今回は「まとめ」の文章を作りましたが、全体の「まとめ」の文章がある中で、視点ごとに1、2、3と項目立てした方が締まるのではないかと思います。また、「市民センターの役割の視点から」と「地域づくりへの広がり視点から」では、若干重複する点があったので、次回までに両グループ間で調整する必要があるかと思っています。

委員：今日初めて参加して、何も分からないうちに終わったような感じがしますが、すばらしい話し合いだったと思います。

委員：何人かの委員の方からご意見がありましたが、グループワークは、より深く皆様方を理解でき、私も発言できる。お互いに分かり合えるありがたい環境でした。ぎっしり埋まったホワイトボードを見ても、この1年の皆様方のご尽力がうかがわれ、今日の成果かと思われまます。

私は、「地域づくりへの広がり視点から」のグループで、「市民センターの役割の視点から」と重複するというご意見がありましたが、重複しても差し支えないのではないかと思います。今後の課題につなげ、その解決に向けて努力していきたいと思いますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

委員：「地域づくりへの広がり視点から」、3人で意見を出し合いました。先ほども、ご意見がありましたが、それぞれの立場、言葉で、「子ども事業」についてこのように考えることにより、簡単な言葉の組み合わせが次第に肉付けされ、最後にはとても良い言葉になったのではないかと3人で自画自賛していたところです。皆さんの立場がそれぞれ違うことで、分かりやすい言葉を使い、分かりやすい文章にまとまっていくという過程を目撃できて良かったと思います。

委員：「地域づくりへの広がり視点から」のグループでしたが、どのような言葉にすればこの活動を分かりやすく伝えることができるか、言葉選びというのはなかなか難しいと思いました。皆さんの力で最後には割合良い言葉にできたと思います。市民センターの方などから、その都度説明していただいたことも、よりスムーズな話し合いにつながったかと思っています。他のグループの発表も、まるでそのグループの話し合いに参加していたかと思わせる内容で良かったです。

会長：皆様どうもありがとうございました。

次回の我々の目標としては、ホワイトボードは使用せず、紙ベースで今回作成した段階までを記載したものの全体を見て、文章の書き方や言い回しの整合性を取っていく。一つひとつでは大変なので、他との比較の中で統一感を作っていくということになるかと思っています。

また、提言ですから、良いことだけではなく、課題として、さらにより良くなるためにはこのようにしたら良いのではないかといったこともあった方が良いのではないのでしょうか。

それでは、次回、最終回にどのように進めていくかは、再度、副会長と私と事務局とで確認させていただきます。では、事務局にお返しします。

以上

会 長

会議録署名委員
